

## 平成30年度第1回学校給食センター運営審議会 議事録

- 1 日 時 平成31年1月25日（金）午後1時から1時45分
- 2 場 所 府中市立学校給食センター 2階 会議研修室
- 3 出席者  
委員：14名（別紙のとおり）  
（欠席：森嶋委員、沖山委員、石田委員）  
（代理出席：渡部委員（多摩府中保健所 新井氏））  
教育部：11名  
浅沼教育長、関根部長、堀江次長、時田所長、高野主査、後藤主査  
斉藤主査、安齋主任栄養士、中嶋栄養士、桑田事務職員  
傍聴者：1名

- 4 内 容
  - (1) 開会 事務局より開会の挨拶
  - (2) 委嘱状交付の説明（事務局）
  - (3) 教育長挨拶
  - (4) 委員紹介（自己紹介）
  - (5) 事務局紹介（自己紹介）
  - (6) 役員選出  
事務局案を提案し、了承された。  
会 長……竹内委員（学校長の代表）  
副会長……大谷委員（保護者の代表）  
\*ここで会長、副会長席に移動。  
進行役を事務局から会長に交代。

### (7) 報告事項

#### 報告事項1「学校給食センターの稼働状況について」

資料1に基づき事務局より説明。

#### 【質疑応答】

- (古川委員) アレルギー対応について、小麦の除去対応を当初から見込んでいなかったとの事だが本当か。
- (事務局) 当初から小麦の除去の予定は新センターでは考えていなかった。以前の給食センターでは卵とナッツ、果物などの除去を行っていた。新給食センターになって新たに甲殻類と牛乳、乳製品の除去に追加対応を始めた。小麦の除去については、同じ調理場内で複数の献立を調理しており、また空調による粉の飛散等を考慮に入れると除去の安全な実施は厳しいと考えている。
- (日野委員) 多品目アレルギー対応について、多品目アレルギーを持つ児童生徒にはどう対応しているのか。また該当者はどれ位居るのか。

(事務局) アレルギーの程度によって対応を変えている。単純に除去対応するのでは無く、代替品目を提供する様に対応している。全く給食が食べられない場合については、提供せず自宅から弁当対応してもらう。提供していない生徒の割合は、手元に数字がない為お答えできない。除去食対応している人数は小学校134人、中学校26人、合計160人である。

## 報告事項2「学校給食費の状況について」

資料2に基づき事務局より説明。

### 【質疑応答】

(古川委員) 歳入が増えた理由は何か。

(事務局) 給食単独校3校の給食センター方式への移行による対象児童・生徒数の増によるもの。

(8) その他

### 【質疑応答】

(日野委員) 給食メニューの人気投票等を実施したことはあるか。

(事務局) 投票という形ではないが、調理員・栄養士が、学校へ給食時間に訪問させて頂いて、実際に食べている児童生徒の実食調査や、希望の聞き取りを行い献立に反映させている。

(日野委員) そういうのがあるなら、データとして何か教えてほしい。

(事務局) やはりカレーがダントツの1位である。

(内海委員) 準備の都合もあるだろうが、事前に資料を配布し質問も前もって集めれば、もう少し深いところまで話し合いができるのではと考えるので検討してほしい。

(事務局) 委員のご指摘のとおりだと思う。次回は、そのような配慮できるように用意する。

(9) 閉会

( 以 上 )